

ひょうごインフラ整備プログラム
阪神北地域
(2024～2033 年度)

令和6年4月
兵庫県阪神北県民局

目次

I	ひょうごのインフラ整備の進め方	
(1)	ひょうごインフラ整備基本方針	1
(2)	ひょうごインフラ整備プログラム	2
(3)	事業実施に向けた分野別計画等	2
(4)	主要事業の整備の考え方	3
II	ひょうごインフラ整備プログラム	24

本プログラムは、県が主体的にまとめたもので、事業の実施にあたっては、関係者と十分調整を図ることとします。

また、本プログラムの掲載内容は固定化するものでなく、社会・経済情勢の変化等にあわせ、適宜、見直しながら事業に取り組んでいくこととします。

1 計画期間

前期：令和 6～10 年度（2024～2028 年度）

後期：令和 11～15 年度（2029～2033 年度）

2 掲載対象事業（以下の条件を満たす事業）

- ・土木部・まちづくり部・農林水産部所管のインフラ整備事業
- ・総事業費 1 億円以上の事業（災害復旧事業、維持修繕事業、直轄事業を除く）

3 事業箇所図

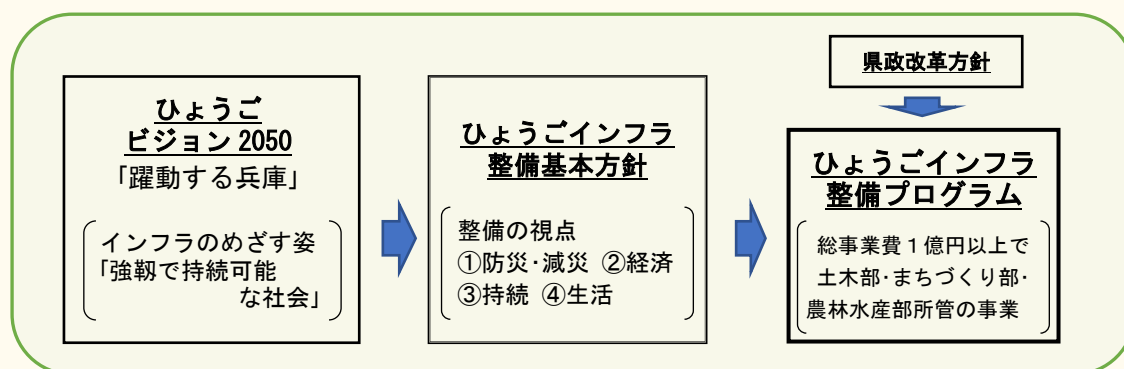
- ・プログラムに掲載した事業箇所を明示しています。

※着色区間は、該当事業の計画区域の全体を明示しているため、施工済みの区間や計画期間外の施工区間を含む場合があります。

I ひょうごのインフラ整備の進め方

兵庫県では、「ひょうごビジョン 2050」に描く「強靱で持続可能な社会」をめざしたインフラ整備を推進するため、「ひょうごインフラ整備基本方針」を策定（令和6年3月）しています。

この「ひょうごインフラ整備基本方針」に基づき、県政改革方針を踏まえ、「ひょうごインフラ整備プログラム」を策定（令和6年4月）し、計画的なインフラ整備に取り組んでいきます。



施策の関係図

(1) ひょうごインフラ整備基本方針

人口減少やカーボンニュートラルなど社会変化の潮流を前提として、強靱で持続可能な社会の礎となるインフラの構築に向け、「①防災・減災、②経済、③持続、④生活」を視点とし、限られた予算の中、より一層、選択と集中の徹底を図り、計画的に整備を推進する。

① 「防災・減災」：防災・減災対策による自然災害に強い社会の実現

激甚化・頻発化する豪雨災害や切迫する南海トラフ地震等に対し、県民が安心して暮らすことができ、自然災害に強い社会を実現できるよう、インフラを整備

② 「経済」：経済成長の実現

人・モノ・投資を呼び込み、持続的な経済成長が実現できるよう、物流・産業・交流の支えとなる道路ネットワーク整備や港湾の機能強化等のインフラを整備

③ 「持続」：老朽化対策や脱炭素化への取組み等による持続可能な社会の実現

持続可能な社会を実現できるよう、施設の計画的な老朽化対策、地域のニーズ等に応じた施設の統廃合、播磨臨海地域のカーボンニュートラル、インフラ分野の DX 等を推進

④ 「生活」：安全・安心で住みやすい県民生活の実現

高齢者や子供など全ての県民が安全に安心して暮らせるよう、必要なインフラを整備・確保

(2) ひょうごインフラ整備プログラム

ひょうごインフラ整備基本方針に基づき、インフラ整備を計画的かつ透明性を確保し推進するため、県政改革方針を踏まえ、「ひょうごインフラ整備プログラム」を策定する。

①計画期間：10年(前期：令和6～10年度、後期：令和11～15年度)

②対象事業：

○土木部・まちづくり部・農林水産部所管のインフラ整備事業

【土木部】道路、街路、交通安全施設、道路保全、河川(ダム含む)、砂防、港湾、海岸、下水道、空港

【まちづくり部】公園、県住

【農林水産部】農道、治山、ため池、ほ場、林道、漁港、漁港海岸、農地海岸

○総事業費1億円以上

○維持修繕事業・災害復旧事業・国直轄事業は除く

③予算フレーム：県政改革方針フレームや過年度の実績を踏まえ設定

(3) 事業実施に向けた分野別計画等

ひょうごインフラ整備基本方針に基づいたインフラ整備を推進するにあたり、直面する重要課題に対応する分野別計画などを策定する。

【分野別計画】

- ①兵庫県無電柱化推進計画 [県]
- ②ひょうご道路防災推進10箇年計画 [県]
- ③兵庫県高潮対策10箇年計画 [県]
- ④第4次山地防災・土砂災害対策計画 [県]
- ⑤日本海津波防災インフラ整備計画 [県]
- ⑥ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画 [県]
- ⑦ひょうご県営住宅整備・管理計画 [県]
- ⑧農地整備10箇年推進プログラム [県]
- ⑨兵庫県ため池防災工事等推進計画 [県]
- ⑩第4期ひょうご林内路網1,000km整備プラン [県]

【その他事業推進に関連する計画等】

- ①ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画 [県]
- ②兵庫県踏切道改良協議会合同会議 [県・国・市町・警察・鉄道事業者]
- ③兵庫地区渋滞対策協議会で選定した主要渋滞箇所 [国・県・神戸市等]
- ④通学路交通安全プログラム [学校・市町教育委員会・県・警察・保護者・地元等]
- ⑤兵庫県自転車活用推進計画 [県]
- ⑥河川整備計画 [県]
- ⑦地域総合治水推進計画 [県]
- ⑧港湾計画 [県]
- ⑨海岸保全基本計画 [県]
- ⑩姫路港・東播磨港港湾脱炭素化推進計画 [県・関連企業等]
- ⑪環境率先行動計画
～ひょうごエコアクションプログラム～ [県]
- ⑫兵庫県地球温暖化対策推進計画
～脱炭素社会に向けて～ [県]
- ⑬兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画
(ひょうごパークマネジメントプラン) [県]
- ⑭兵庫県立都市公園リノベーション計画 [県]

(4) 主要事業等の整備の考え方

ひょうごインフラ整備プログラムを策定するにあたり、今後10年間に実施する主要事業^{※1}について、整備の考え方^{※2}を以下に示す。

※1) 主要事業：道路・街路事業、交通安全施設・道路保全事業、河川事業、砂防事業、港湾・海岸事業、下水道事業、公園事業、県営住宅事業、ほ場事業、ため池事業、漁港・漁港海岸事業、老朽化対策

※2) ひょうごインフラ整備基本方針に示す「4つの視点」を各項目の最後に明示

道路・街路事業の整備の考え方

1) 高規格道路の整備の考え方

【考え方】大交流圏を支える高規格道路ネットワーク等の整備を推進 **経済**

- ① **事業中路線の早期完成**、播磨臨海地域道路など**未着手路線の早期事業着手**
- ② 高速道路ネットワークの効果を活かすため**スマート IC の整備**を推推
- ③ **大鳴門橋自転車道の整備**により広域的なサイクルツーリズムを推進



高規格道路ネットワーク図



浜坂道路Ⅱ期 浜坂第2トンネル～
諸寄高架橋（新温泉町）

ひょうごインフラ整備プログラム掲載路線

路線名	想定スケジュール	2050年
東播磨道（北工区）	H26事業化 → [R7開通予定]	R6 [前期] [後期] R15 R32
山陰近畿自動車道（浜坂道路Ⅱ期）	H30事業化 → [前期完了]	
（竹野道路）	R3事業化 → [後期完了]	
（佐津～竹野）	[後期着手]	
播磨臨海地域道路※（姫路JCT～広畑）	都市計画 環境影響評価 → [前期着手]	
大鳴門橋自転車道	R5事業化 → [R9完成予定]	

※播磨臨海地域道路（姫路JCT～広畑）は県が事業実施する可能性があるため記載



大鳴門橋自転車道 完成イメージ（南あわじ市）

その他路線

	路線名	事業者	状況
高規格道路	大阪湾岸道路西伸部	国・阪神高速㈱	事業中（六甲アイランド北～駒栄 H28～）
	名神湾岸連絡線	国・阪神高速㈱・NEXCO	事業中（R3～）
	神戸西バイパス	国・NEXCO	事業中（永井谷～石ヶ谷 H30～有料導入）
	播磨臨海地域道路	未定	未着手 （第二神明～広畑間の都市計画・環境影響評価手続きを実施中）
	東播丹波連絡道路	国	事業中（西脇北バイパス H9～）[R8春開通予定]
	北近畿豊岡自動車道	国	事業中（豊岡道路 H28～）[R6秋開通予定] 事業中（豊岡道路Ⅱ期 R2～）
スマートIC	山陰近畿自動車道	国（直轄有限代行）	事業中（城崎道路 R5～）
	三木スマートIC	三木市・NEXCO	事業中（R2～）

【関連計画等】

- ・ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画 [県]

2) 道路改築事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 高規格道路ネットワークと一体となって人・モノの円滑な移動を実現し、**経済活動の基盤を強化** **経済**
- ② まちづくり計画等を支援し、また、都市の交通課題や市街地分断を解消し、**まちの価値を向上** **生活**
- ③ 日常生活上の交通課題(すれ違い困難、渋滞等)を解消し、**暮らしの安全性・利便性を向上** **生活**

① 経済活動の基盤を強化

人・モノの円滑な移動を実現するため、高規格道路ネットワークの整備にあわせて、高速道路 IC などへのアクセス道路（バイパスなど）を整備する。

【整備事例】

バイパス整備前の現道(離合困難)



バイパス整備後



スマート IC へのアクセス強化（バイパス整備）

現道(渋滞状況)



バイパス整備中



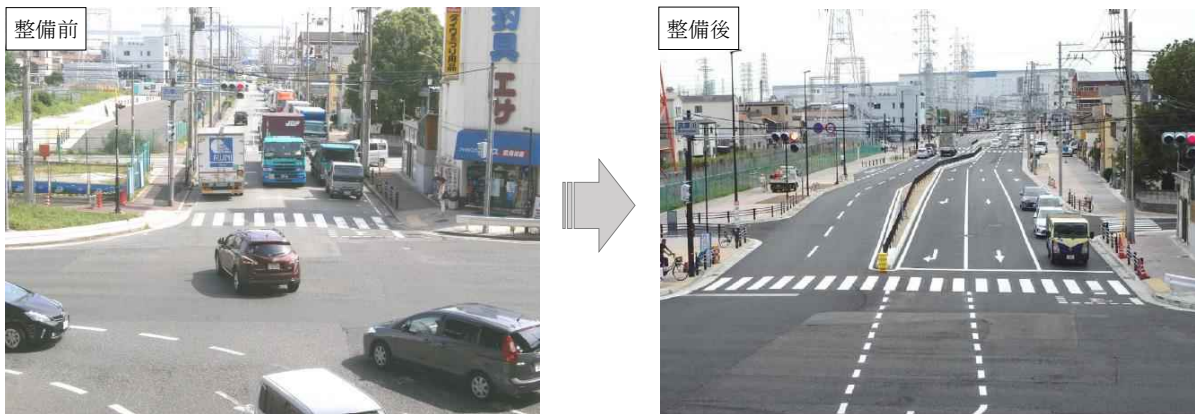
高規格道路へのアクセス強化（バイパス整備）

② まちの価値を向上

市町のまちづくり計画等による地域活性化を支援するため、主要道路の道路拡幅などを実施する。

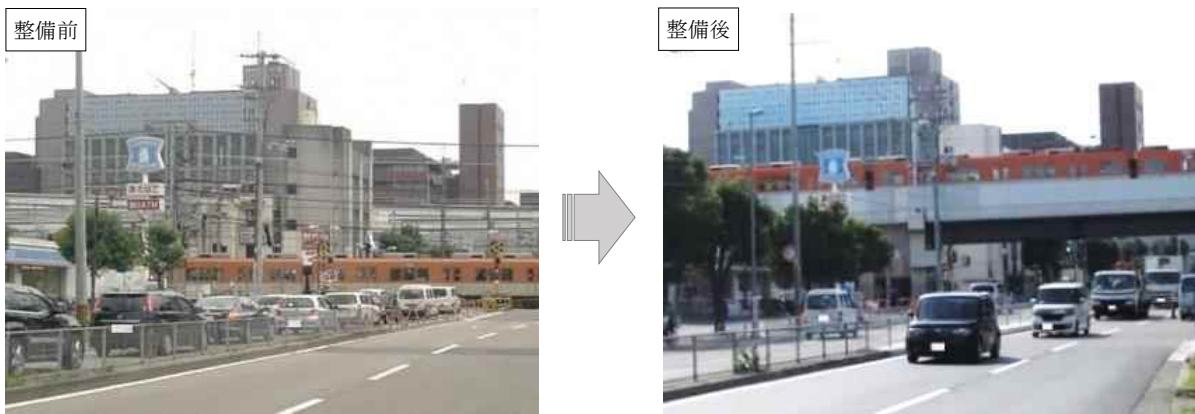
開かずの踏切等による交通渋滞や市街地の分断を解消するため、市や鉄道会社と協力し、連続立体交差事業を実施する。

【整備事例】



地域活性化を支援する主要道路の道路拡幅

【整備事例】



踏切等による交通渋滞・市街地の分断を解消する連続立体交差事業

③ 暮らしの安全性・利便性を向上

日々の暮らしを支える生活道路のすれ違い困難箇所や渋滞箇所の解消を図るため、道路拡幅や交差点改良を実施する。また、「防災」、「安全・快適」、「景観・観光」の観点から無電柱化を実施する。

【整備事例】



幅員狭小な現道（すれ違い困難）



連続したヘアピンカーブ



交差点の渋滞状況



無電柱化対策

【渋滞解消 整備目標】

兵庫地区渋滞対策協議会で選定した主要渋滞箇所のうち県管理道路について、5年間で16箇所の対策を実施

【無電柱化 整備目標】

兵庫県無電柱化推進計画に基づき、5年間で29kmの無電柱化に着手

【関連計画等】

- ・兵庫県踏切道改良協議会合同会議 [県・国・市町・警察・鉄道事業者]
- ・兵庫地区渋滞対策協議会で選定した主要渋滞箇所 [県・国・神戸市等]
- ・兵庫県無電柱化推進計画 [県] [分野別計画]

交通安全施設・道路保全事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 通学路交通安全プログラムに位置付けた安全対策を優先実施し、**子供達の安全を確保** **生活**
- ② 橋梁の耐震補強や落石対策等を行い、災害時に通行を確保する**強く安全な道路ネットワークを構築** **防災・減災**

① 子供達の安全を確保

- i) 通学児童の安全を確保するため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路において歩道整備等の交通安全対策を推進する。

【整備事例】

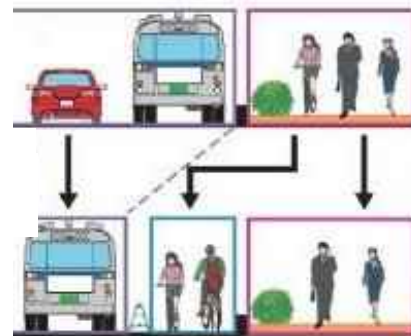


【歩道整備 整備目標】

通学路交通安全プログラムに基づき、10年間で約20kmの歩道整備を実施

- ii) 自転車の安全で快適な通行を確保するため、中高生の自転車通学の利用状況等を踏まえて、自転車通行空間整備を推進する。

【整備事例】



道路空間のリニューアル イメージ

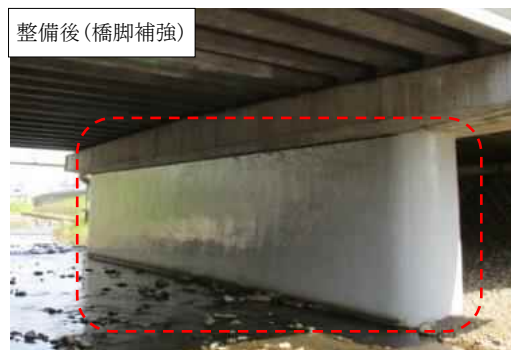
【自転車通行空間 整備目標】

兵庫県自転車活用推進計画に基づき、10年間で約80kmの自転車レーンなどを整備

② 強く安全な道路ネットワークを構築

- i) 地震後においても避難や物資輸送等の通行を確保するため、ひょうご道路防災推進 10 箇年計画に基づき、緊急輸送道路等の落橋防止対策を実施する。

【整備事例】



【耐震補強 整備目標】

ひょうご道路防災推進 10 箇年計画に基づき、10 年間で 139 橋の橋梁耐震補強を実施

- ii) 防災点検に基づく要対策箇所のうち、緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響が大きい道路について、ひょうご道路防災推進 10 箇年計画に基づき、落石防止網や落石防護柵等を整備する。

【整備事例】



【道路法面对策 整備目標】

ひょうご道路防災推進 10 箇年計画に基づき、10 年間で 342 箇所の法面防災対策を実施

【関連計画等】

- ・通学路交通安全プログラム [学校・市町教育委員会・県・警察・保護者・地元等]
- ・兵庫県自転車活用推進計画 [県]
- ・ひょうご道路防災推進 10 箇年計画 [県] [分野別計画]

河川事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 河川の事前防災対策や高潮対策等の総合的な治水対策を推進 防災・減災
- ② 老朽化した施設が急増することを踏まえ、計画的・効率的な老朽化対策を推進 持続
- ③ 中上流部の局所改良や堆積土砂撤去等により浸水被害軽減を図る即効対策を推進 防災・減災

① 総合的な治水対策

流下能力を向上させるため、「河川整備計画」に基づき、河道拡幅等の河川改修や既存ダムの機能を最大限活用するため、堤体嵩上げ等によるダム再生を推進する。

また、「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づき、優先度の高い箇所から高潮対策を推進する。

【整備事例】



河川改修(護岸、河床掘削等)



河川改修(地下貯留管)



高潮対策



ダム再生

② 計画的・効率的な老朽化対策

老朽化した施設が急増することを踏まえ、毎年、点検を実施し、適時適切な修繕や更新により、計画的・効率的な老朽化対策を推進する。

【整備事例】



排水機場(更新)

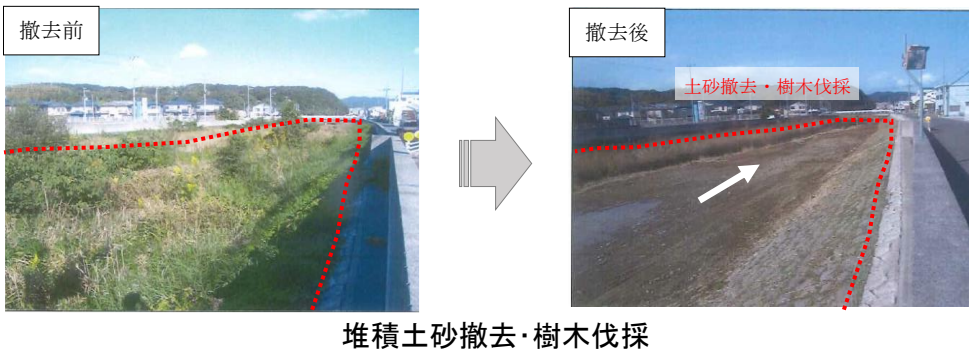
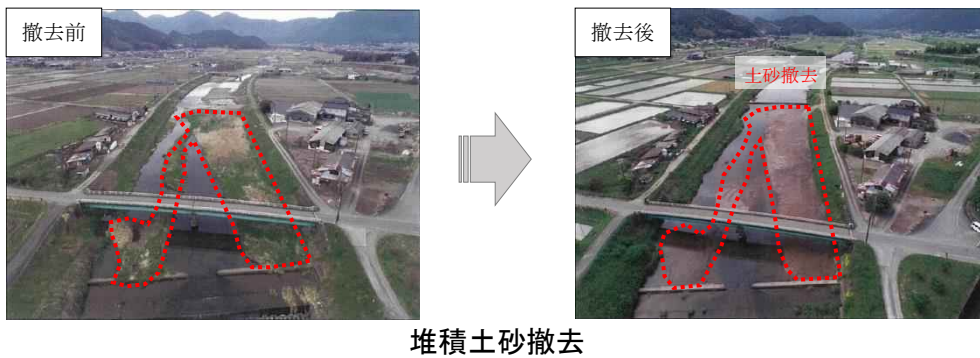
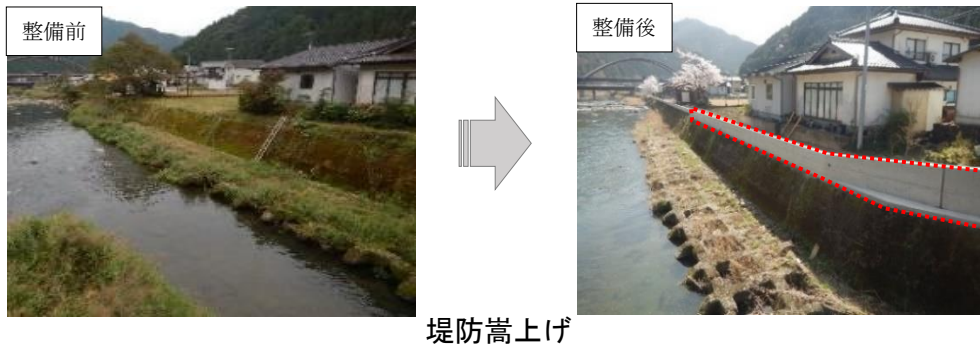


排水機場(ポンプ等修繕)

③ 浸水被害軽減を図る即効対策

浸水被害軽減を図るため、河川中上流部における上下流バランスを考慮した堤防嵩上げ等の局所的な対策や、人家等が密集する地区や河川合流点付近等での堆積土砂の撤去や樹木伐採を実施する。

【整備事例】



【関連計画等】

- ・ 河川整備計画 [県]
- ・ 地域総合治水推進計画 [県]
- ・ 兵庫県高潮対策 10 箇年計画 [県] [分野別計画]

砂防事業の整備の考え方

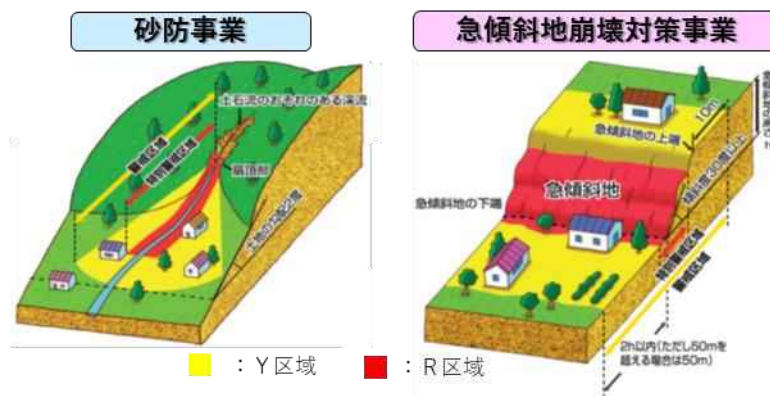
【考え方】

防災・減災

- ① 土砂災害特別警戒区域（R区域）への対策を優先実施し、**土砂災害対策を推進**

① 土砂災害対策を推進

山地防災・土砂災害対策計画に基づき、土砂災害が発生すると人家に著しい被害が発生するおそれのある土砂災害特別警戒区域（R区域）に指定された箇所など緊急性の高い箇所を優先して、砂防堰堤等を整備する。



【整備事例】



土石流防止対策



崖崩れ防止対策

【土砂災害対策 整備目標】

山地防災・土砂災害対策計画に基づき、年間 50 箇所新規着手

【関連計画等】

- ・ 第 4 次山地防災・土砂災害対策計画 [県] [分野別計画]

港湾・海岸事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 大規模海岸災害に備えた津波・高潮対策等の推進 防災・減災
- ② 港湾施設の改良など、エリア活性化に向けた物流・産業・交流の機能強化 経済
- ③ 2050年のカーボンニュートラルに向けた港湾における脱炭素社会の構築 持続

① 津波・高潮対策等の推進

- i) 日本海沿岸について、レベル1津波の越流を防ぎ、レベル2津波の浸水被害の軽減を図るため、日本海津波防災インフラ整備計画に基づき、防潮堤等を整備する。

【整備事例】



津波対策

【津波対策 整備目標】

日本海津波防災インフラ整備計画に基づき、2028年度(令和10年度)までに日本海沿岸の津波対策を完了

- ii) 大阪湾沿岸で既往最高潮位を観測した平成30年台風第21号等を踏まえ策定した兵庫県高潮対策10箇年計画に基づき、防潮堤等を整備する。

【整備事例】



高潮対策

【高潮対策 整備目標】

兵庫県高潮対策10箇年計画に基づき、2033年度(令和15年度)までに高潮対策を完了

② 物流・産業・交流の機能強化

- i) 港湾を利用した物流・産業・交流の機能を強化するため、岸壁、防波堤、護岸や臨港道路等を整備する。

【整備事例】



港湾リニューアル

③ 港湾における脱炭素社会の構築

- i) 2050年のカーボンニュートラルに向け、水素等次世代エネルギーの受入環境整備や、旅客船ターミナル、管理棟・倉庫での太陽光発電、照明のLED化、ブルーカーボン生態系の活用等を推進する。

【関連計画等】

- ・ 港湾計画 [県]
- ・ 海岸保全基本計画 [県]
- ・ 日本海津波防災インフラ整備計画 [県] [分野別計画]
- ・ 兵庫県高潮対策10箇年計画 [県] [分野別計画]
- ・ 姫路港・東播磨港港湾脱炭素化推進計画 [県・関連企業等]

下水道事業の整備の考え方

【考え方】安心安全で循環型社会を支える下水道事業の推進 **持続**

- ① 下水道施設の老朽化対策を計画的に推進
- ② 下水道資源の有効利用や脱炭素化を推進

① 老朽化対策を計画的に推進

良好な下水道サービスを継続的に提供するため、計画的な施設更新を進める。

【整備事例】



老朽化した散気装置を更新

② 下水道資源の有効利用や脱炭素化を推進

下水汚泥焼却炉等の更新時に下水汚泥のエネルギー利用による脱炭素化を推進するとともに、肥料利用など下水道資源の有効利用にも取り組む。

【整備事例】



バイオガス・固形燃料を生成する施設（稼働予定）

【関連計画等】

- ・ 環境率先行動計画～ひょうごエコアクションプログラム～ [県]
- ・ 兵庫県地球温暖化対策推進計画～脱炭素社会に向けて～ [県]

公園事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 効率的な老朽化対策の計画的な推進 持続
- ② 社会変化を踏まえた公園施設のリノベーションの推進 生活

① 老朽化対策の計画的な推進

将来にわたり安全・安心な公園施設の機能を維持し、県民が安全に利用出来るよう適時適切な修繕・更新により長寿命化を図るなど、効果的・効率的な老朽化対策に取り組む。

【整備事例】



老朽化した野球場スタンド



老朽化した園路

② 公園施設のリノベーション

少子高齢化、人口減少などの社会情勢の変化を踏まえ、県立都市公園が時代の変化に的確に対応し、ストック効果を発現できるようリノベーションに取り組む。

【整備事例】



公園施設のリノベーション

【関連計画等】

- ・兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画（ひょうごパークマネジメントプラン）[県]
- ・兵庫県立都市公園リノベーション計画 [県]

県営住宅事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 安全で安心して暮らせるよう、子育てしやすい県営住宅や住環境に配慮し、耐震化・バリアフリー化等を推進 生活

① 県営住宅の建替事業の推進

老朽化が著しい住宅や耐震性に課題のある住宅を建替えることにより、耐震化・バリアフリー化等を推進し、大規模災害等による停電時にコミュニティープラザで電気が使用できるように太陽光発電設備を整備するなど、防災・環境等に配慮する。

また、様々な世代等がともに暮らすミクストコミュニティーの形成等により、子育てしやすい県営住宅や住環境の整備を推進する。

【整備事例】



県営住宅の建替

【県営住宅 整備目標】

「ひょうご県営住宅整備・管理計画」に基づき、R12年度末の45,000戸程度に向け、計画的に建替えを実施

【関連計画等】

- ・ひょうご県営住宅整備・管理計画 [県] [分野別計画]

ほ場整備事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 担い手への農地の集積・集約化が見込まれる地区の整備
- ② さらなる大区画化・高機能化が見込まれる地区の整備

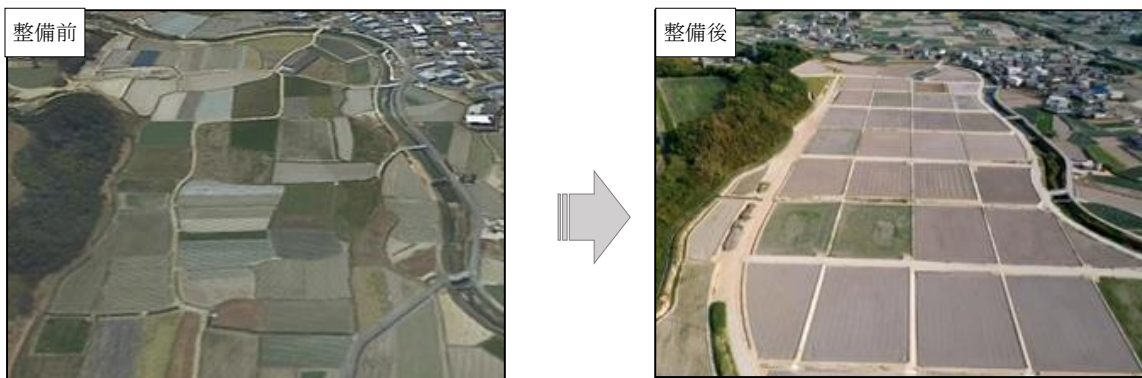
経済

経済

① 担い手への農地の集積・集約化

担い手へ農地を集積・集約するため、未整備地域において大型機械に対応したほ場の大区画化や農業用水の安定供給を可能とする用排水路整備等により、生産性の高いほ場への整備を実施する。

【整備事例】



ほ場整備

② ほ場の大区画化・高機能化

生産コストの一層の低減と水管理の省力化を図るため、整備済地域においてさらなる農地の大区画化や用排水路の管路化（パイプライン化）を実施する。

【整備事例】



管路化（パイプライン化）

【整備目標】

農地整備10箇年推進プログラムに基づき、2030年度（令和12年度）までにパイプライン化された農地が13,200haとなるよう整備を実施

【関連計画等】

- ・農地整備10箇年推進プログラム [県] [分野別計画]

ため池事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 決壊リスクの高いため池の**防災対策（改修・補強工事）の推進** 防災・減災

① 防災対策の推進

人命に被害を及ぼすおそれのある「防災重点農業用ため池」のうち、老朽化対策や豪雨・地震対策が必要で、優先度が高いため池の改修・補強工事を集中的かつ計画的に実施する。

【整備事例】



ため池改修

【整備目標】

兵庫県ため池防災工事等推進計画に基づき、2030年度（令和12年度）までに254箇所のため池改修補強工事に着手

【関連計画等】

- ・兵庫県ため池防災工事等推進計画〔県〕〔分野別計画〕

林業基盤整備の考え方

【考え方】

- ① 木材利用の拡大と資源循環型林業を推進するための林内路網を整備

経済

① 林内路網の整備を推進

造林から伐採収穫までの適正な森林管理と持続的な林業経営を推進するため、低コストで安定的な木材生産の基盤となる森林基幹道と森林作業道等を組み合わせた路網整備を推進する。

【整備事例】



林道を活用した木材搬出



森林作業道と高性能林業機械による効率的な木材生産作業

【整備目標】

第4期ひょうご林内路網1,000km整備プランに基づき、継続4路線の計画的な整備を推進

【関連計画等】

- ・第4期ひょうご林内路網1,000km整備プラン〔県〕〔分野別計画〕

漁港・漁港海岸事業の整備の考え方

【考え方】

- ① 大規模災害に備えた津波・地震対策等の推進 防災・減災
- ② 漁業活動の効率化・省力化による生産性向上を目指した施設整備の推進 経済
- ③ 長寿命化対策の計画的な推進 持続

① 津波・地震対策等の推進

i) 南海トラフ地震による津波に備え、津波到達時間が県下で最も早い沼島漁港において、浸水被害の軽減を図るため、港口水門整備や防波堤の嵩上げ等を実施する。

【整備事例】



整備中(水門等)



完成イメージ(水門等)

津波対策

ii) 地震や津波など災害に対して脆弱性を有する拠点漁港において、災害発生後の漁業活動継続や早期回復、緊急物資輸送などの機能を担うため、施設の耐震化など機能強化を着実に実施する。

【整備事例】



整備前



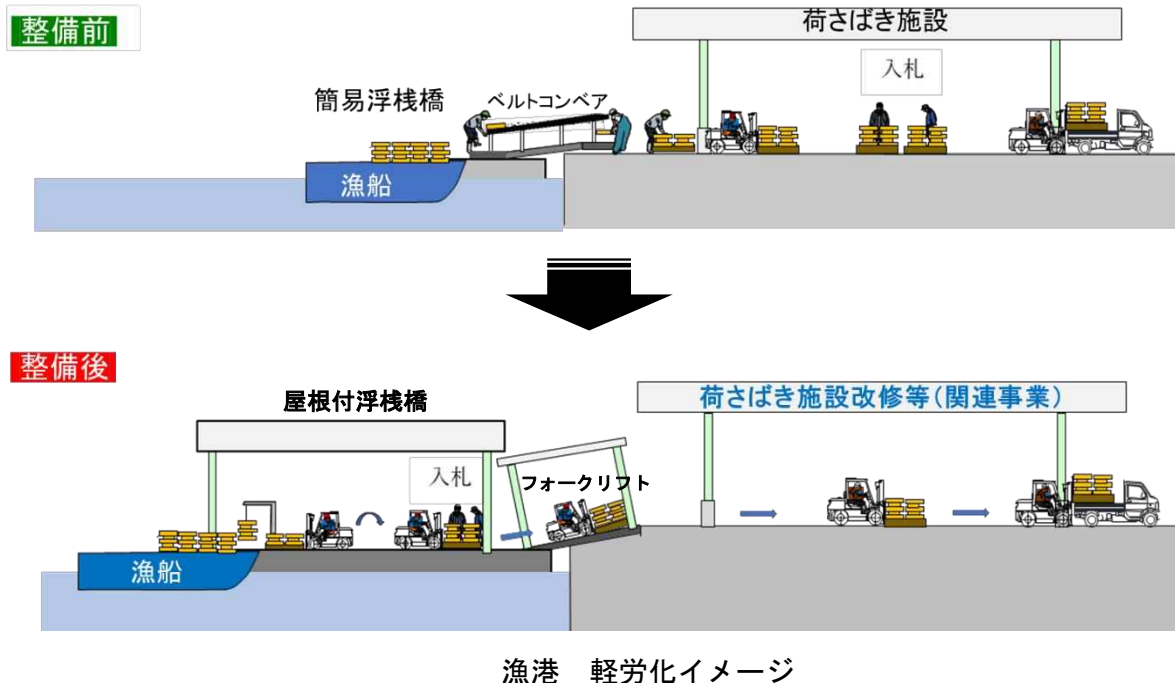
整備後

物揚場耐震化

② 効率化・省力化による生産性向上

漁業活動の効率化や省力化による生産性向上を目指し、港内の静穏度向上を図る防波堤や、集出荷作業の軽労化に資する浮棧橋などを整備する。

【整備事例】



③ 長寿命化対策

漁港施設における老朽化の進行に対応し、また護岸や水門、離岸堤などの海岸保全機能を維持するため、長寿命化対策を計画的に推進する。

【整備事例】



漁港海岸離岸堤補修

老朽化対策の考え方

【考え方】

持続

- ① インフラ・メンテナンス 10 箇年計画等に基づく、老朽化対策の計画的・効率的な推進
- ② 新技術の活用による、メンテナンスの効率化・高度化 持続
- ③ 施設の統廃合への取り組み 持続

① 老朽化対策の計画的・効率的な推進

増加し続ける老朽化した橋梁・排水機場などのインフラ施設の機能を維持するため、インフラ・メンテナンス 10 箇年計画等に基づき、総コストを低減し、予算の平準化を図りながら、計画的・効率的に老朽化対策を推進する。

【整備事例】



橋梁補修



ポンプ補修

② メンテナンスの効率化・高度化

ドローンやAI等の新技術活用により、メンテナンスの効率化・高度化を図る。

【整備事例】



橋梁点検(ドローン撮影)



トンネル点検(レーザー打音)



舗装状況診断(AI)

③ 施設の統廃合

老朽化が著しく、通学児童の利用が無くなった歩道橋や、人口減少や施設の老朽化を踏まえ、施設の広域化・共同化を推進する下水処理施設など、インフラ施設の統廃合について、社会情勢の変化や地域のニーズを踏まえ、関係者等との調整の上、検討する。

【整備事例】



歩道橋撤去



下水処理施設の広域化・共同化

【関連計画等】

・ひょうごインフラ・メンテナンス 10 箇年計画 [県] [分野別計画]

【事業調整箇所】

執行環境(地元調整、関係機関協議等)や周辺環境の変化(開発、工場立地、道路ネットワーク等)、周辺の地域づくりの進展状況など社会経済情勢の動向を見極め事業化を検討する箇所

(主)塩瀬宝塚線(宝塚市境野)、(一)切畑多田院線(川西市芋生)、(一)生瀬門戸荘線(宝塚市長寿ガ丘)、(都)荒地西山線(宝塚市千種)、(一)能勢猪名川線(猪名川町紫合)、有馬富士公園Ⅱ期(三田市加茂)

【略号】(国)国道、(主)主要地方道、(一)一般県道、(都)都市計画道路、(一)一級河川、(二)二級河川